

ピーゼットシー散 1%

【この薬は？】

販売名	ピーゼットシー散 1% PZC POWDER 1%
一般名	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩 Perphenazine Fendizoate
含有量 (1g中)	25.76mg (ペルフェナジンとして10mgに相当)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。
統合失調症、術前・術後の悪心・嘔吐、メニエル症候群（眩暈、耳鳴）
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・昏睡状態の人、循環虚脱状態の人
- ・バルビツール酸誘導体や麻酔剤などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人
- ・アドレナリン（ボスミン）を使用している人（アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）
- ・過去にフェノチアジン系化合物およびその類似化合物で過敏症のあった人

○次の人は、原則としてこの薬を使用することはできません。

- ・皮質下部の脳障害（脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症など）の疑いがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師にその旨を教えてください。

- ・肝臓に障害のある人、または血液障害のある人
- ・褐色細胞腫、動脈硬化症あるいは心臓に障害の疑いのある人
- ・重い喘息、肺気腫、呼吸器の感染症などにかかっている人
- ・てんかんなどのけいれんを起こす病気を有する人、または過去にてんかんなどのけいれんがあった人
- ・幼児、小児
- ・高齢の人
- ・高温環境にある人
- ・脱水の人や栄養状態の悪い人

○この薬には併用してはいけない薬 [アドレナリン(アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く) (ボスミン)] や、併用を注意すべき薬、接触到注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

【精神科領域以外の場合】

1日量	ペルフェナジンとして6～24mg（散として0.6～2.4g）
飲む回数	1日数回に分けて飲みます。

【精神科領域の場合】

1日量	ペルフェナジンとして6～48mg（散として0.6～4.8g）
飲む回数	1日数回に分けて飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（刺激がないと眠ってしまう）、昏睡（意識の消失、刺激に全く反応しない）、血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい、ふらつき、意識の消失）、錐体外路症状（動きが遅い、手足のふるえやこわばり、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない）などの症状があらわれる可能性があります。その他に、激越（落ち着きがない、感情が激しくたかぶった状態）と情緒不安、けいれん、口渇、腸閉塞（便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る、腹痛）、心電図変化および不整脈（めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ）などがあらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・抗精神病薬を飲んでいる人には、肺塞栓症（突然の息切れ）、静脈血栓症（下肢のむくみ・痛み）などが報告されています。長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人は特にこれらの症状に注意してください。
- ・治療初期に起立性低血圧が起こることがあるので、立ちくらみやめまいなどの症状があらわれたら、医師に連絡してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
Syndrome malin（悪性症候群） シンドロームマリン（あくせいしょうこうぐん）	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する

突然死 とつぜんし	気を失う
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はつけっきゆうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意思に反して体が動く
眼障害 がんしょうがい	目のかすみ、物が見えにくい、目の異物感、目の痛み、視力の低下
SLE様症状 エスエルイーようしょうじょう	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔の赤い発疹、体重減少
肺塞栓症 はいそくせんしょう	胸の痛み、突然の息切れ
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢の痛み

同類薬（フェノチアジン系抗精神病薬）であられる、特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん(エスアイエイディエイチ)	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあられる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、汗をかく、体のこわばり、突然の高熱、寒気、意思に反して体が動く、体がだるい、発熱、体重減少、けいれん、出血が止まりにくい

頭部	ぼーっとする、気を失う、意識の低下、意識の消失、めまい
顔面	顔の赤い発疹
眼	目のかすみ、物が見えにくい、目の異物感、目の痛み、視力の低下
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、喉の痛み、吐き気、嘔吐、意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、唇が青紫色になる
胸部	呼吸数が増える、胸の痛み、突然の息切れ、息切れ、動悸
腹部	お腹が張る、食欲不振
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる、関節の痛み、下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛み
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる、あおあざができる
便	便やおならが出にくい
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

形状	散剤 
色	白色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<http://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、会社休業日を除く)